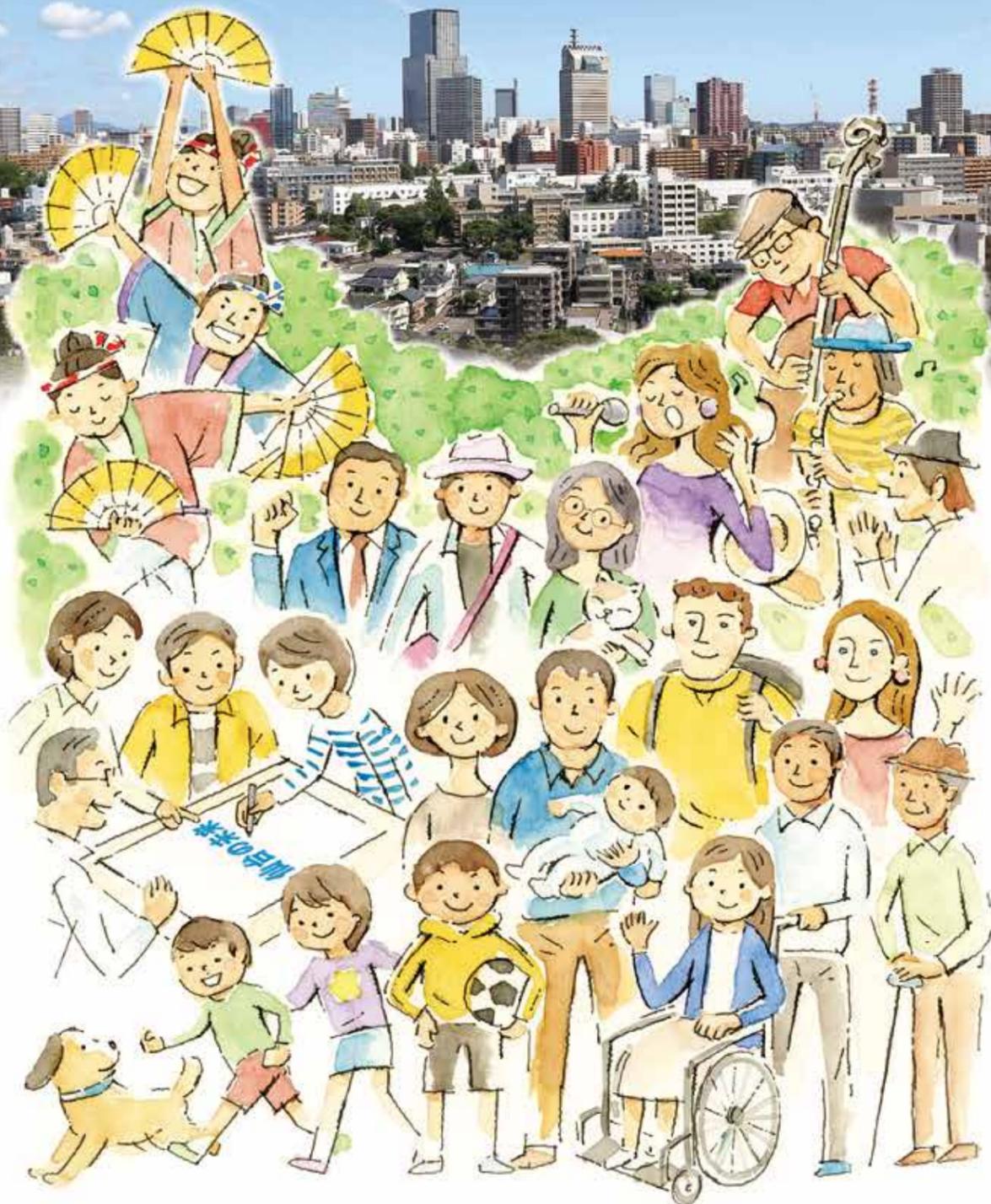


# 躍動する杜の都 新たなステージへ

平成31年度 仙台市の主要事業



## 平成31年度予算のあらまし

一般会計・特別会計・企業会計を合計した市全体の予算規模は1兆1,093億円で、前年度比302億円増加し、震災以降引き続き1兆円を超える高い水準となりました。

一般会計では、幼児教育の無償化等による健康福祉費の増加や、低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券発行等による経済費の増加などにより、前年度比173億円増の5,563億円となりました。

また、特別会計は公債費の増加などにより160億円増加し、企業会計は下水道事業における復興事業の進捗に伴う工事費の減少などにより、31億円減少しました。

### 歳入 市税収入や国庫支出金が増加

市税収入は、県費負担教職員権限移譲に伴う県から市への税源移譲等により、前年度に比べて76億円増加しました。また、子ども・子育て関連経費等の財源として、国庫支出金が65億円増加しました。

### 歳出 健康福祉費などが増加

子育て支援や障害者福祉など社会福祉に要する費用である健康福祉費は、幼児教育の無償化等により増加し、2,000億円(36.0%)と最も大きな割合を占めました。次いで、学校建設費の増加などにより教育費が964億円(17.3%)、土木費が631億円(11.3%)となりました。

### 平成31年度の会計別の予算規模

	平成31年度(前年度比)	
一般会計	5,563億円	(173億円増加)
特別会計	3,170億円	(160億円増加)
企業会計	2,360億円	(31億円減少)
合計	1兆1,093億円	(302億円増加)

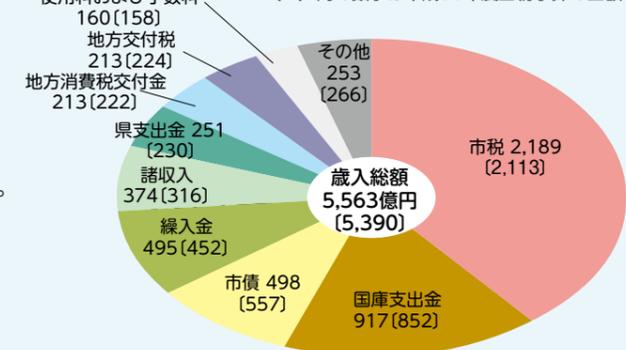
予算についてのお問い合わせは

財政企画課 ☎214・8111、FAX262・6709、

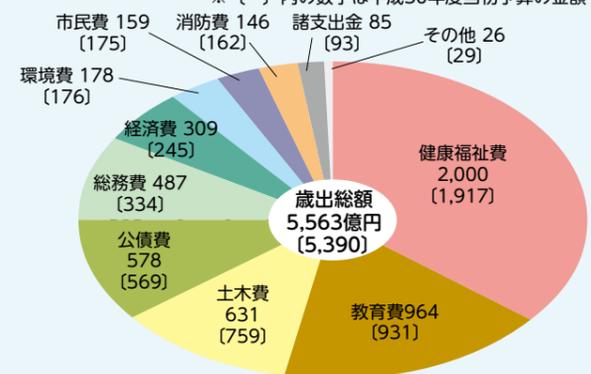
または市ホームページ [仙台市の財政](#)

- **一般会計**…特別会計、企業会計以外の全ての歳入・歳出を経理。行政運営の基本的な経費を計上する会計
- **特別会計**…国民健康保険や介護保険など、その事業に要する経費が保険料など特定の収入で原則賄われる会計
- **企業会計**…民間企業と同じように原則としてサービスの提供で収益を上げ、その収益で費用を賄う事業の会計。仙台市には下水道、バス、地下鉄、水道、ガス、病院の各事業があります

### 歳入内訳(一般会計) (単位:億円)



### 歳出内訳(一般会計) (単位:億円)



## 10月1日から料金が変わります

10月1日から消費税率が8%から10%へ引き上げられるに伴い、各種使用料・手数料などを、おおむね2%改定します。

### 地下鉄

	現行運賃	改定後運賃
1区	200円	210円
2区		250円
3区	300円	310円
4区	330円	340円
5区	360円	370円
定期運賃		おおむね2%を上限に改定

### 市バス

普通運賃	0~20円の値上げ
定期運賃	おおむね2%を改定

※運賃改定実施前に購入した定期券・一日乗車券は、有効期限まで使用できます(差額の負担はありません)

問 交通局案内センター ☎222・2256

### 水道・下水道・市ガス

水道料金、下水道使用料、ガス料金等の消費税相当分を改定します。

問【水道】水道局コールセンター ☎748・1111、【下水道】建設局業務課 ☎214・8809、【市ガス】ガス局お客さまセンター(通話料無料) ☎0800・800・8977

### その他

下記の使用料・手数料等の消費税相当分を改定します。詳しくは各施設にお問い合わせください。

- 施設使用料(各会議室・展示施設やスポーツ施設、市民センターなど) ※9月30日までに所定の手続きを完了すると、現行料金が適用されます
- 入館料など(科学館、天文台など)
- 診断書等交付手数料・保険外診療使用料(市立病院、各区役所保健福祉センター、診療所、休日夜間診療所)
- と畜検査手数料、開発行為許可等申請手数料など



# 躍動する杜の都 新たなステージへ

## —平成31年度施政方針から



仙台市長  
郡 和子

仙台が市制施行し、130年。平成の時代とともに政令指定都市に移行してから30年の歩みを刻んできた中で、東日本震災をはじめとする幾多の試練や時代の変化を乗り越え、環境と都市機能が美しく調和する「杜の都」を創り上げてきました。

今、グローバル化や高度情報化、ライフスタイルの多様化など、私たちが取り巻く環境は大きく変化しています。仙台が人々の夢や意欲を育み躍動し続けるまちであるためには、多様な人々の知恵と力を掛け合わせ、力強く前進することが必要です。市民の皆さまとともに「杜の都」の豊かな自然、知的資源や若者の多い学都、震災を乗り越えた市民力などの都市個性を見つめ直し、磨き上げながら、新たなチャレンジを続けていきます。これから、未来に向けたまちづくりの指針となる新総合計画の議論が本格化します。次なる30年を見据え、変革へのスタートラインに立ち、輝き続ける未来への活路

を市民の皆さまとともに切り開いていきます。  
このような考えの下、新年度の主題を「躍動する杜の都 新たなステージへ」とし、希望ある未来を創るべく、全力で取り組んでいきます。

### 人が集い、成長し続けるまちづくり

都市の発展に向けて、要となる地域経済の活性化・地元中小企業の競争力の強化を推進します。高成長が見込まれる企業への集中的な支援により地域経済をけん引する「仙台未来創造企業」を輩出するとともに、中核人材の育成による経営力強化の取り組みを始めます。また、地元企業へ就職する方を対象とした奨学金返還支援制度を開始するほか、IT産業とさまざまな業種との協業によるX-IT ECHを推進し、新たな事業モデルの構築等を目指します。さらに、仙台・東北の未来に大きなイノベーションを生み出す次世代放射光施設の利活用に向けた取り組みや、関係機関との連携構築を進め、この施設を中核としたリサーチコンプレックスの形成を図ります。

交流人口拡大については、国内外からの誘客を消費につなげるため、本市ならではの多彩な体験プ



伊達武将隊と歴史的建造物などを巡るまち歩き体験では、仙台の歴史や魅力を感じることができます

カウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる支援体制強化や全ての市立中学生を対象に学級生活の満足感などを把握するアンケート調査を実施します。また、中学3年生を対象に35人以下学級を拡充し、全市立学校へのエアコンの早期設置に取り組めます。

プログラムを創出し、誰もが楽しめる「日本一の体験都市」を目指します。また、仙台空港への新規路線誘致に取り組みとともに、大規模な企業内会議や研修会等新たな分野の会議誘致を進めます。東北の食に着目したツーリズムを推進するほか、勾当台公園に東北の食材を活用するカフェ・レストランを設置し、多様な魅力を発信します。経済・観光の活性化には、都心の機能強化が重要との認識の下、「仮称」都心再構築プロジェクト」をスタートします。市役所本庁舎建て替えや定禅寺通活性化、音楽ホール整備の検討等を進めるとともに、経済の活性化と連動させた都心機能の更新や利便性の高い都心交通環境の整備に取り組みます。

### まちと地域を支える人づくり

子どもが健やかに学び育つことのできる環境づくりに向けて、いじめや不登校などの未然防止、早期の発見と対応のため、スクール



育児相談や授乳ケアが受けられる産後ケア事業など、産後の母親に寄り添ったサポートを行います

切れ目のない子育て支援の充実のため、産婦健康診査の助成や産後ケア事業を通年で実施するとともに、保育基盤の整備など引き続き待機児童の解消に取り組めます。また、幼児教育無償化の円滑な実施に向けた対応を着実に進めます。発達に不安を抱える未就学児や保護者の支援のため、児童発達支援センターの機能を拡充し、ペアレント・プログラムを活用した啓発や相談、幼稚園等との並行通園をモデル事業として実施します。多様性を認め合い誰もが生きがいを持って暮らせるよう、障害のある方への就労支援や差別解消の啓発に取り組めます。また、高齢

者が地域で安心して生活できるよう、地域包括ケアシステムの構築を進めます。誰も自死に追い込まれることのない仙台の実現に向け、地域自殺対策推進センターの整備やSNSを活用した相談窓口の設置等により、対策を強化します。地域コミュニティ強化の観点から、町内会等への住民参加を促進するとともに、「町内会役員担い手講座」を全市に展開し、役員となり得る人材の発掘・育成等につなげていきます。また、日常生活を支える移動手段の確保に向け、地域、運行事業者との協働による地域交通スタート支援事業の実証運行を目指すとともに、他の地域にも広げるよう進めていきます。

### 未来を守る、防災環境都市づくり

災害救助法に基づく救助実施市の指定を受けることで、大規模災害時の被災者支援を迅速かつ円滑に行う体制を整えるほか、国土強靱化地域計画の策定に着手します。市中心部の震災メモリアル拠点の基本構想策定に向けた検討を進めるほか、小学生の校外学習での荒浜小学校活用による未来の防災の担い手づくりに取り組めます。また、世界防災フォーラムと仙台防災未来フォーラムを同時開催し、



国内外の防災の専門家等が集う世界防災フォーラムでは、国際的な防災の課題について議論されます(写真は平成29年11月開催時)

市民の防災意識の向上を図り、仙台防災枠組の採択都市としての責務を果たしていきます。

地球温暖化対策を推進するための条例の在り方や、事業者による温室効果ガス排出削減を図るアクションプログラムの導入に向けた議論を深めるとともに、食品ロスの削減など、ごみの減量とリサイクルを一層進めます。

復興の着実な推進に向けては、被災された方々への心のケアを含む健康支援やコミュニティ活性化などに引き続き取り組めます。

◆ 地域課題が多様化する中にあるのは、市民の皆さまとともに施策を組み上げる努力が一層重要であり、政策形成過程への市民の皆さまの幅広い参画と多様な主体との連携により、市民が主役のまちづくりを推進していきます。新たな時代を迎えようとする中、復興の次のステージに向けて確実に歩みを進めていきます。

経済産業政策推進

3521万円

地域経済を持続的に発展させていくため、本市が集中的に取り組むべき施策の方向性を定めた「仙台市経済成長戦略2023」の推進に向けた取り組みを実施します。その重点的な取り組みの一つとして、成長意欲の高い企業を「仙台未来創造企業」と位置付け集中的に支援するほか、地元企業の経営者の学び合いの場を設け、ネットワーク構築や交流を促進します。

中小企業経営基盤強化

3306万円

中小企業の課題解決や経営革新の取り組みを支援し、経営の安定化や生産性の向上を図るとともに、人材育成や事業承継などの組織制度の課題に対しても支援します。

地元企業成長促進

5444万円

成長・拡大を目指す中小企業を対象に、経営人材の育成や新規事業の開発、業務効率化等を支援し、

経営革新を促進します。また、課題を抱える中小企業とさまざまな業種の大企業等をマッチングし、企業間連携による課題解決を目指すなど、地元企業の成長を促す各種施策を展開します。

起業支援

1億3388万円

起業や起業後の事業継続を支援するとともに、成長志向が高く雇用創出力のある起業家や、社会課題の解決を目指す社会起業家の育成に取り組みます。

中小企業人材確保・雇用対策

6995万円

地元企業の人材確保と若者の地元定着を図るため、市内の中小企業に就職した若者を対象とした奨学金返還支援事業や、市内への移住・就業者に対し移住支援金の給付を行う「わくわく地方生活実現助成」を実施します。

成長産業振興

1億9087万円

本市に集積するIT企業におけ

農業振興

17億58万円

民間事業者が行う6次産業化を推進し、農業の高付加価値化や農産物の消費拡大につなげるほか、地域農業の担い手の育成を促進します。また、農業の活性化を図るため、農業生産基盤の確保や強化に取り組みます。

スポーツ推進

6億279万円

東京オリンピック・パラリンピックに向け、事前キャンプ誘致や各国との交流促進事業を実施します。また、スポーツ施設の改修や大規模スポーツイベントの開催等、生涯スポーツ社会の実現に向けた取り組みを進めます。

文化振興

6億9327万円

「楽都<sup>がくと</sup>仙台」や「劇都仙台」の取り組みを推進するとともに、楽都にふさわしい音楽ホールについて、基本構想策定に向けたさらなる検討を進めます。

その他の主要事業

- 農食ビジネス推進 1億3225万円
- 仙山連携推進 2144万円
- 国際姉妹都市等との交流 967万円
- 国内姉妹都市との交流 861万円
- せんだい・アート・ノード・プロジェクト 3000万円
- 八木山動物公園整備 7300万円
- 学都推進 624万円
- 文化財史跡整備推進 1億6455万円
- 科学館展示リニューアル推進等 1億5576万円
- 百年の杜づくり推進 4億707万円
- 機能集約型市街地の形成と良好な居住地域づくり 12億4900万円
- 都市計画街路整備 45億7269万円
- 橋りょう整備 27億3668万円
- 東西線沿線にぎわい・まちづくり推進 6億9202万円
- 青葉山公園整備 2億3450万円

市が取り組む重点分野と主要事業について紹介します

仙台観光魅力創出

7760万円

誘客を消費に結びつけ、地域経済の活性化につなげるために策定した「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略」の推進に向けた取り組みを実施します。その重点的な取り組みの一つとして、本市の多様な観光資源の魅力を高め、旅行者が体験できるプログラムを発掘・創出するほか、VR（バーチャル・リアリティ）の活用等により誘客と市内回遊を促進します。



VRで歴史的風景等を再現する取り組みを進めています。仙台城跡からは、藩政時代の仙台の街並みを見ることができます

観光客誘致宣伝

1億4379万円

ターゲットを明確化し、本市の強みを生かしたプロモーションを行うほか、ウェブ等を効果的に活用し、国内からの誘客を図ります。

インバウンド推進

1億6177万円

外国人観光客のさらなる誘客を

コンベンション誘致

6384万円

国際会議、学会等のコンベンションに加え、企業内会議や研修会等の誘致に取り組むとともに、会議等の受け入れ環境の充実を図ります。

東北連携推進

2億6058万円

東北の各都市と連携して、東北の多様な魅力を発信するカフェ・レストランの設置や、東北の美酒と食のツーリズムの推進、東京オリンピック・パラリンピックに向けた首都圏共同プロモーションなどに取り組み、東北全体の交流人口の拡大や活性化を図ります。

本庁舎建替・定禅寺通活性化推進

1億7597万円

市役所本庁舎の建て替えや定禅寺通の活性化に関する検討を進めるとともに、勾当台公園市民広場



本庁舎の建て替えに向けて、市民やまちづくりに関わる皆さんとともに検討を進めていきます

都市計画マスタープラン策定調査

980万円

機能集約型の市街地形成を掲げる現行の都市計画マスタープランの計画期間が平成32年度末に完了することから、新プランの策定に向けてその基本方向や素案を作成するとともに、シンポジウムなど市民参画事業を実施します。

公共交通活性化等推進

6億2190万円

人口減少や少子高齢化の進展、地下鉄東西線の開業などの社会状況の変化を踏まえた次期「せんだい都市交通プラン」策定に向けた検討を進めます。また、地域の足の確保に取り組む団体に対して経費助成を行うなど、地域との協働により、地域交通を確保するための取り組みを行います。

※4〜9ページの主要事業では、一部の事業費の中に、再掲分が含まれます  
※金額はいずれも1万円未満切り捨て

いじめ防止対策推進

14億3419万円  
スクールカウンセラーの増員やSNSを活用したいじめ相談体制の充実、全ての市立中学生を対象とした学級生活等のアンケート調査の実施などにより、いじめの未然防止および早期発見、発生時の迅速かつ適切な対応を推進します。また、シンポジウムの開催などにより、広く市民に向けて啓発を行い、社会全体でいじめ防止に取り組む機運を醸成します。



小・中学生が集い、いじめのない学校を目指して話し合う「仙台市いじめ防止『さげな』サミット」

不登校防止対策推進

2839万円  
適応指導センター「児遊の杜」

などにおける学習・体験活動や、ひきこもり傾向のある児童生徒への家庭訪問相談援助など、学校復帰や自立への支援を行います。また、センターの相談員が学校を訪問し、学校と連携しながら、別室等で児童生徒の学習支援や居場所づくりを行います。

35人以下学級の拡充

6億1725万円  
教職員が子どもたち一人一人としっかりと向き合える体制を強化するため、35人以下学級を拡充します。平成31年度は、既に実施している中学1・2年生に加え、中学3年生まで拡充し、必要な教職員の配置や学級数の増加に伴う教室の整備等を実施します。

学校教育施設整備

91億1624万円  
児童生徒の安全確保のため、学校敷地内にある改修等が必要なブロック塀の撤去等を行います。また、市立高等学校の普通教室や、職員室等への空調設備の設置を進めます。

すこやか子育てプラン推進

686億1507万円  
安心して子どもを生み育てることができるよう、認可保育所等の保育基盤の整備等に取り組むほか、子育てを地域社会全体で支える取り組みを進めるなど、未来を担う子どもたちが健やかに育つことができるよう各種施策を推進します。



子育てふれあいプラザ（のびすく）の運営など、子育て家庭を応援する地域づくりを進めます

母子保健の充実

13億2822万円  
不妊や不育症に関する相談指導や情報提供等を行う相談センターを新たに設置するほか、出産後間もない時期の母子をサポートする産婦健康診査の費用助成や産後ケア事業を実施するなど、切れ目のない子育て支援の充実を図ります。

幼児教育の無償化

32億4770万円  
3歳から5歳までの全ての子どもと、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもの幼稚園および保育所等の利用料を無償化します。

子どもの貧困対策

1億832万円  
地域の子どもの対象に食事の提供等を行う「子ども食堂」による居場所づくりを支援します。また、放課後等の学習支援や中途退学の未然防止の取り組みを行うなど、子どもの健やかな育ちを地域で支える取り組みを推進します。

男女共同参画の総合的推進

6億8007万円  
男女が互いに尊重し合い、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる社会づくりのため、次期「男女共同参画せんだいプラン」策定に向けた市民意識調査の実施など、男女共同参画を推進する各種事業や市民活動支援を進めます。

その他の主要事業

- 確かな学力育成 9億5974万円
- 仙台自分づくり教育推進 8145万円
- 放課後子ども教室推進 3466万円
- 教職員の多忙化解消の推進 17億181万円
- 学校支援地域本部事業推進等 4298万円
- 市民健康づくり推進 29億4464万円
- 感染症対策 31億8862万円
- 地域福祉の推進 6億9951万円
- 介護予防・日常生活支援総合事業 31億1250万円
- 介護サービス基盤整備促進 15億6453万円
- 障害者差別解消 788万円
- 消費者支援 3100万円
- 市民協働による地域づくりの推進 1億9265万円
- ふるさと底力向上プロジェクト 1億4652万円
- 市民センターによる地域づくり支援 4041万円

市が取り組む重点分野と主要事業について紹介します

高齢者保健福祉の推進

48億7049万円  
高齢者の就労・社会参加の促進や地域支え合い活動への支援等に取り組む、高齢者が地域で安心して暮らすことができるよう地域包括ケアシステムの構築を図ります。

障害者保健福祉の推進

268億6900万円  
「共生する社会」の実現に向け、障害理解の促進と権利擁護の推進や地域生活支援体制の充実、安心して暮らせる生活環境の整備など、各種施策を展開します。

障害児支援の充実

43億4732万円  
発達に不安のある未就学児や保護者への支援体制強化のため、児童発達支援センターにおいて、子どもの発達特性を理解し、適切に対応するための知識や方法を保護者が身に付けるペアレント・プログラムを活用した啓発・相談を行います。また、センターと保育所、幼稚園等との並行通園を行うモデル事業等を実施します。

自殺総合対策推進

2447万円  
新たに策定した自殺対策計画に

地域安全対策

7700万円  
基づき、相談業務や人材育成などの中核となる地域自殺対策推進センターを整備するとともに、SNSを活用した若年者向けの相談窓口を新たに設置するなど、相談体制の充実を図り、自殺対策を総合的に推進します。

「仙台市客引き行為等の禁止に関する条例」の全面施行に併せ、街頭啓発活動や禁止区域の表示を行うほか、市民が安全で安心して暮らせる街の実現のため、防犯対策や迷惑行為防止に向けたマナーアップ活動を推進します。



条例制定に併せ、中心部商店街・国分町地区で、商店街関係者、警察等とともに客引き行為等の禁止について呼び掛けたパレード

杜の都の自転車プラン推進

3億6796万円  
交通公園を使用した子ども向けの自転車交通安全教室など、年代に応じた交通安全教育を実施しま

郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト推進

5017万円  
郊外住宅地・西部地区の持続的な発展のため、地域の担い手が自発的に取り組む実践事業および調査検証事業の補助を行います。

地域コミュニティ体力強化

650万円  
地域コミュニティの中核を担う町内会をはじめ、市民が安心して心豊かな地域生活を営む基盤となる地域団体が継続して活動できる環境づくりに向け、参加啓発や人材の発掘・育成、住民意識の醸成等に取り組みます。

※金額はいずれも1万円未満切り捨て

未来を守る、防災環境都市づくり

防災環境都市づくり推進

5377万円

国内外の専門家が集う世界防災フォーラムと、市民参加型の仙台防災未来フォーラムの同時開催を通じ、多様な主体による防災・減災の取り組みを国内外に発信するなど、「防災環境都市・仙台」のブランドの形成を推進します。また、大学等と連携した未来の防災の担い手づくりや国連防災世界会議で採択された「仙台防災枠組」を学ぶ講座の開催等を通じて、市民の主体的な活動を促進するなど、防災力の高い都市づくりを進めます。

震災復興メモリアル事業

1億3758万円

せんだい3・11メモリアル交流館や震災遺構仙台市立荒浜小学校の運営などを通して、津波の脅威や地域の記憶を後世に伝えていくほか、市中心部における震災メモリアル拠点の整備に向けた検討や、アーカイブの整備を推進します。また、次の世代に震災の記憶を継

承するため、メモリアル交流館や荒浜小学校の活用を促進します。



東日本大震災の遺構として公開している荒浜小学校。津波による犠牲を再び出さないため、その脅威や教訓を後世に伝えていきます

防災・減災対策の推進

3億3311万円

震災の教訓を踏まえ、東部沿岸地域の津波避難広報体制の強化や仙台防災タウンページの配布等による防災意識の普及・啓発、地域防災リーダー（SBL）の養成・支援など、地域のさまざまな自然災害等に対応した防災・減災への取り組みの充実を図ります。

消防力の整備

17億7564万円

全ての市民が安全に安心して暮らせるよう、消防施設・設備の整

備を進めます。また、119番通報において、聴覚・言語障害者からの通報に対応する専用アプリや外国人への多言語対応を導入するほか、風水害をはじめとした大規模自然災害等の対策を進め、総合的な消防力の向上を図ります。

民間建築物耐震化等促進

4億3291万円

戸建木造住宅等の耐震診断や改修費の助成による民間住宅の耐震化を進めるとともに、大規模な建築物等の耐震化を促進します。また、倒壊の恐れがあるブロック塀等の除却を促進するなど、災害に強いまちづくりを進めます。

低炭素都市づくり等推進

6億9258万円

温室効果ガスの排出を抑制するとともに、気候変動への適応を進めるため、地球温暖化対策推進計画改定に向けた検討を行います。また、事業者による温室効果ガス排出削減を図るアクションプログラムの導入に向けた検討を進めるなど、市民・事業者・行政の共通

理解と役割分担の下、環境負荷のより小さい、持続可能な都市づくりを推進します。

ごみ減量・リサイクル推進

40億5300万円

一般廃棄物処理基本計画の改定に向け、ごみの組成分析調査や将来排出されるごみ量の推計などを行います。また、生ごみの3割を占める食品ロスの削減や資源物の分別回収、事業所に向いてのごみ分別講座の実施など、ごみの減量・リサイクルに市民・事業者との協働により取り組み、資源循環都市づくりを推進します。

ふるさとの杜再生プロジェクト

3577万円

震災により甚大な被害を受けた東部地域のみどりの再生に向けて、市民・NPO・企業等の協働により、「杜の都・仙台」の復興のシンボルとなる新たなみどりを育む取り組みを継続的に進めていきます。平成31年度は、海岸公園内の防災林等の市民植樹・育樹を実施します。

被災者生活再建支援

3896万円

みなし仮設住宅入居者を対象に、関係機関と連携しながら、住まいの再建等に関する相談・支援を実施します。また、みなし仮設住宅等に入居する1人暮らしの高齢者や18歳以上の重度身体障害者等に対し、緊急時の対応機能を備えた機器を貸し出し、緊急通報や見守りなどのサービスを提供します。

被災者の健康支援

2691万円

被災された方々の心と体の健康状態を戸別訪問等により確認し、健康づくりや介護予防運動教室の実施、心のケアなど、一人一人の状況に合わせたきめ細かな健康支援を行います。



復興公営住宅等で、入居者同士が交流しながら、健康づくりや介護予防のための運動教室を行っています

東部地域移転地地活用推進

33億3066万円

防災集団移転後の東部沿岸部の

蒲生北部地区復興再整備

34億8253万円

津波で甚大な被害を受けた蒲生北部地区について、土地区画整理事業により、防災集団移転後の土地の整理集約と、業務系土地利用を前提とした都市基盤の再整備を行います。

海岸公園整備

5億9733万円

復興のシンボルとなる公園として来園者がより安全で快適に利用



平成28年10月から順次利用を再開し、昨年7月に全面オープンした海岸公園。東部沿岸地域のにぎわいの拠点として、引き続き整備を進めます

東部復興道路整備

5億7025万円

東部地域の多重防護の要であるかさ上げ道路の開通に向けて、整備を推進します。

都市経営の推進等

総合計画の推進

5788万円

中長期的なまちづくりの指針となる新総合計画の策定に向け、総合計画審議会での審議を進めるとともに、ワークショップや市民アンケートなど、市民の皆さんの意見を幅広くいただく機会を設けます。また、現行計画の適切な進捗管理と評価等を行います。

コールセンター等整備

942万円

市民の方々から寄せられる市政全般に関する問い合わせに的確に対応するため、コールセンターの設置に向けた準備を進めます。

低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券発行

59億6346万円

消費税、地方消費税の引き上げの影響を緩和するため、低所得

その他の主要事業

消防団緊急強化

1550万円

救急体制整備

6億4333万円

生物多様性保全推進

246万円

復興まちづくりに向けた町内会等支援

562万円

津波被災地域住宅再建支援

5220万円

仙台港周辺地区復興支援

3億6248万円

被災者の雇用促進

7869万円

その他の主要事業

市税等の収納率向上対策

1億3374万円

市制施行130周年、政令指定都市・区制移行30周年記念事業

2281万円

人材育成機能・組織力の強化

2582万円

クラウド・RPA導入活用推進

2978万円

※金額はいずれも1万円未満切り捨て

青葉区

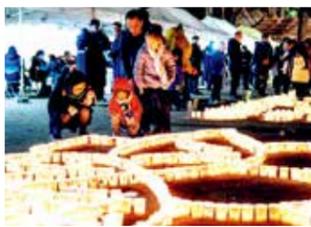
区民協働まちづくり事業

区民の皆さんや地域団体などとの協働により、「青葉区民まつり」、「宮城地区まつり」などを企画・開催するとともに、区民主体の各種イベントを支援します。また、地域のコミュニティ活性化、子育て、防災等の地域課題に取り組みまちづくり活動への助成を行います。さらに、マンシヨンのコミュニティ形成の促進に向けた取り組みを進めます。



▲「青葉区民まつり」のフィナーレを飾り、幅広い世代が参加するすずめ踊り総踊り

▼区民主体で実施する「西公園キャンドルライトファンタジー」。子どもたちの手作りキャンドルに、未来の夢を託します



定禅寺通活性化推進  
定禅寺通の魅力を高める取り組み

組みの検討等を行い、にぎわいの創出と都心部全体の人の回遊性の向上を図ります。  
ふるさと底力向上プロジェクト  
地域団体等の創意工夫によって、少子高齢化に伴う諸課題や多様化する地域課題に対応する取り組みを支援します。(大学の学生サークル等と町内会等地域団体のマッチングによる地域づくり推進、荒巻包括ケアシステムモデル事業、作並・新川地区活性化事業、仙台萬本さくらプロジェクト)

仙台駅西口駅前広場再整備  
バス乗降場の拡張や、交通機関相互の乗り継ぎ利便性の向上を図ります。  
仙台駅西口ガス灯改修  
設置から約30年が経過したガス灯のLED化を進めます。  
水の森市民センター大規模修繕設計  
特別養護老人ホーム建設費補助(南吉成中学校区)

道路整備  
茶屋町山屋敷線、高畑定義線、青葉山線、愛子赤坂線等の整備を行います。  
橋りょう整備  
昭和三十九年道橋、広瀬小学校前歩道橋等の補修工事を行います。

公園整備  
青葉山公園、西公園、中山台西公園、台原公園、愛子公園等の整備を行います。

宮城野区

区民協働まちづくり事業

区民の皆さんと協働でまちづくりを進めるため、「みやぎのまつり」など各種イベントなどを企画・開催します。また、子育て、防災など幅広い分野でのまちづくり活動に助成を行います。



ステージ発表、露店、ブース展示など区民主体の手づくりによる「みやぎのまつり」

被災者交流支援事業

復興公営住宅入居者等のコミュニティ運営を支援するほか、地域団体等が行う被災者交流活動に対して公募による助成を行います。

蒲生北部地区復興再整備  
蒲生北部地区において土地整理事業等を実施します。

ふるさと底力向上プロジェクト  
高齢化に伴う諸課題に対応するため、鶴ヶ谷地区をモデル地区とし、世代や分野を超えた連携拡大を働きかけ、地域活動力の向上を支援します。

海辺のふる里づくり支援  
津波被災地域において、まちの活性化等に取り組む団体や、集団移転跡地利活用を検討する地元団体を支援します。



南蒲生町内会が開催したイベント「みんなの畑の収穫祭」

幸町市民センター大規模修繕  
コミュニティ・センター大規模修繕(東仙台、鶴巻)およびコミュニティ・センター大規模修繕設計(新田、燕沢)  
市営住宅建設  
鶴ヶ谷第二市営住宅団地の再整備を進めます。  
福田町駅結節点整備検討調査  
JR福田町駅のバリアフリー化に伴い、乗り継ぎの利便性を高めるため、駅結節点整備の調査・検討を行います。

道路整備  
東部復興道路のほか、鍋沼線、今市福田線等の整備を行います。  
橋りょう整備  
日の出町14号線1号橋等の補修工事を行います。

公園整備  
海岸公園、榴岡公園、高砂中央公園等の整備を行います。

若林区

区民協働まちづくり事業

区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。「若林区民ふるさとまつり」や「合唱のつどい」、地域資源の六・七郷郷を活用したイベント等を企画・開催します。また、公募により、市民団体が実施するまちづくり活動への助成を行います。



▼小学生から大人まで一堂に会する「若林区合唱のつどい」



▲堀の中を歩く「堀DAY(デー)さんぽ」で人気のお花見コース

被災者交流支援事業

復興公営住宅入居者等のコミュニティ運営や交流に向けた支援を行うほか、地域団体等が行う被災者交流活動に対して公募による助成を行います。

若林区役所と地下鉄沿線賑わい創出  
区役所来庁者等の安全性・利便性の確保、区役所南側から地下鉄薬師駅へのアクセス向上に向けた整備を行います。

学校教育施設整備  
大和小学校、荒井小学校の校舍等増改築工事や荒井小学校の校庭整備を行います。  
ふるさと底力向上プロジェクト  
六郷東部地区の新たな地域の拠点となるコミュニティ広場として東六郷小学校跡地の整備を進めるとともに、地域主体のまちづくり活動を支援します。



地域住民が主体となり、東六郷コミュニティ・センターで開催した「六郷東部ふるさと交流祭」

(仮称)七郷第二児童館建設  
若林市民センター大規模修繕  
道路整備  
東部復興道路のほか、長喜城霞目線等の整備を行います。  
橋りょう整備  
六丁の目第2歩道橋等の補修工事を行います。

公園整備  
海岸公園、荒井南1号公園等の整備を行います。

太白区

区民協働まちづくり事業

区民の皆さんと協働でまちづくりを進めます。「太白区民まつり」や小学生の体験学習事業、区内の自然・歴史を探究する事業などを企画・開催するほか、公募により、市民団体が実施するまちづくり活動への助成を行います。また、地域づくりの担い手同士の交流の機会を創出するなど、地域づくり活動を支援します。



「太白区民まつり」のステージ発表の様子。多彩なジャンルの発表で、ステージを盛り上げます

被災者交流支援事業

町内会等が行う被災者交流活動に対して、公募による助成を行います。  
郡山遺跡整備  
史跡地の公有化と史跡公園としての整備を推進します。  
学校教育施設整備  
四郎丸小学校の校舎等の増改築工事の設計や、大野田小学校の校舎増改築工事等を行います。

ふるさと底力向上プロジェクト  
生田・坪沼地区の活性化支援を引き続き行うほか、秋保地区の魅力ある体験型観光の創出や観光客と市民との交流促進など、西部中山間地の活性化と地域力の向上に努めます。



秋保地区で採れたソバを使った「仙台秋保そばフェス」のそば打ち大会

東中田市民センター大規模修繕設計  
コミュニティ・センター大規模修繕(郡山、太白)  
下水道浸水対策  
四郎丸地区の浸水対策を行います。  
道路整備  
郡山折立線、向山1号線、仙台山寺線等の整備を行います。  
橋りょう整備  
熊野宮橋の整備や、八本松小学校前歩道橋、浜井橋等の補修工事、太白大橋等の耐震工事を行います。

公園整備  
富沢駅東2号公園等の整備を行います。  
八木山動物公園整備

泉区

区民協働まちづくり事業

区民の皆さんと協働でまちづくりを進めるため、世代間交流の促進やふるさと意識を育てる「泉区民ふるさとまつり」、「七北田川クリーン運動」、「泉ヶ岳悠・遊フェスティバル」等を行います。また、地域と大学が連携して地域課題の解決を図っていく「いずみ絆プロジェクト支援事業」や「大学地域連携による課題解決事業」を行うほか、地域の特色を生かし、区民の皆さんが自主的に取り組むまちづくり活動への助成を行います。



▼泉区の夏の風物詩「泉区民ふるさとまつり」。花火がフィナーレを飾ります



▲七北田川クリーン運動の一環で開催された「七北田川自然観察会」

ふるさと底力向上プロジェクト  
少子高齢化が進む郊外居住地区において、地域・大学・事業者等が連携し、課題を解決する取り組みへの支援を行います。また、住民による泉西部地区の将来のまちづくりの検討を支援するとともに、地域資源の認知度向上や誘客に向けた情報発信を行い、魅力あるまちづくりと地域の活性化を図ります。



外国人にも好評な、泉西部地区の自然や歴史などの地域資源を巡るサイクリング体験

将監地域複合施設建設設計  
コミュニティ・センター大規模修繕(北中山)およびコミュニティ・センター大規模修繕設計(館、七北田)  
特別養護老人ホーム建設費補助(南光台中学校区)  
道路整備  
南前町線等の整備を行います。  
橋りょう整備  
古屋敷橋の整備および八木沢橋等の補修工事を行います。

公園整備  
泉中央公園等の整備を行います。